

令和元年度第2回八王子市多文化共生推進評議会議事要点録

【日時】 令和2年(2020年)1月31日(金)午後6時30分から午後8時30分まで

【場所】 学園都市センター11階 学生交流室・国際交流室

【出席者】 ◎評議員
森茂座長、遠藤評議員、岡林評議員、奥野評議員、河西評議員、シュレスタ評議員、
館山評議員、ドミー評議員、花輪評議員

◎事務局
小峰部長、中野目課長、櫻井課長補佐、阿部田主事

【欠席者】 劉評議員

【公開・非公開の別】 公開

【傍聴人】 0名

【配付資料】 評議会次第

- ・資料1 外国人への情報提供について
- ・資料2 八王子市における主な外国人留学生支援事業
- ・資料3 日本語学校に所属する外国人留学生アンケート調査 調査結果報告書
- ・資料4 外国人材の受入れ・共生のための総合的対応策(改訂)の概要
- ・資料5 日本語教育の推進に関する法律 概要

1 開会
・資料確認

2 部長挨拶
・小峰部長挨拶

3 意見交換
●外国人への情報提供について

評議員
・次第の3「意見交換」の一つ目、外国人への情報提供について事務局より説明をお願いする。

事務局
・資料1 を用いて説明

評議員
・資料1 の説明に対して質問、意見はあるか。

ひょうぎいん
評議員

- ・メール配信サービスについて、台風第 19 号の際、日本語で避難情報等が送られてきたが、英語などでも配信しているのか。

じむきょく
事務局

- ・メール配信サービスの防災情報は、日本語のみです。

ひょうぎいん
評議員

- ・大雨の際は、防災行政無線も聞こえない。災害時こそ情報が必要。自分が住んでいる地区は大丈夫だったが、隣の町は、小学校などに大勢避難していた。

じむきょく
事務局

- ・災害時のメール配信については、多言語化できていない。課題であると認識している。ホームページには、災害情報が出ているので、たどり着ければ自動翻訳で外国人の方も情報を得ることができる。台風第 19 号の際は、ホームページも繋がらなくなり、防災行政無線も聞こえない等、外国人だけでなく、日本人にとっても課題がある。

ひょうぎいん
評議員

- ・NHKでは、英語版が流れていた。それだけでも良いと思う。何か情報を提供できればと思う。予め英語の文章を用意しておいて、町名だけを入れるようなやり方も良いと思う。

じむきょく
事務局

- ・メール配信については、正確かつ迅速である必要がある。訳文を作って対応するのはなかなか大変だ。今、考えているのは、メール配信している防災情報をホームページに載せ、正確性には問題があるが、自動翻訳を活用してもらうように考えている。また、Facebook も同じように防災情報を載せ、自動翻訳を活用してもらうように考えている。出来るだけ迅速に対応できるような改善を考えている。迅速性を考えると、翻訳して、確認して送信すると時間がかかってしまう。日本語の情報発信をとにかく早くということもあるので、そこと矛盾する。自動翻訳の機能を十分に活用していきたい。外国人の方には、事前にどこで情報が得られるかを周知して、災害時に情報を取っていただくように考えている。

ひょうぎいん
評議員

- ・ホームページがダウンしたのは、水没したからなのか、アクセスが集中したからなのか。

じむきょく
事務局

- ・分析した限りでは、ハザードマップにアクセスが集中したためだ。

ひょうぎいん
評議員

- ・一番知りたかったのは、浅川がどこで氾濫しそうなのかだった。テレビで見えていたが、市のホームページで

浅川の地点ごとの映像が見ることが出来れば良かった。ホームページの簡易版表示も自分のパソコンの状況なのか、市のホームページ自体が簡易版なのかが分からなかった。

事務局

・NHKを見られていた方が多いと思いますが、河川の監視カメラは、河川を管理している国や東京都が設置している。それをNHKが流している。市が各河川にカメラを設置して映像を流すことは難しいところがある。今回市が行ったのは、NHKの英語版、やさしい日本語版のニュースのページを市のホームページと八王子国際協会のホームページにリンクを貼り、外国人が情報を取りやすくする工夫をした。

評議員

・八王子国際協会はいかがですか。

評議員

・市のFacebookで頻繁に情報をアップされていたので、日本人としては良かった。やさしい日本語、外国人の方が分かる日本語が良い。アメリカの友人は、「ハリケーン」は知っていたが、「台風」を知らない。「強い風が吹きます」だけでなく、「ハリケーンのような強い風が吹きます」といった表現にすれば分かる。全員が分かるわけではないが、多くの外国人がわかる日本語を使って、Facebookにアップ出来ていれば良かった。

評議員

・FacebookやTwitterなどのSNSを使った情報発信は、有効だと思う。外国人の方々は、思っている以上に海外の人と繋がっている。日本のコミュニティでもFacebookを活用し、日ごろからチェックしている。ただし、Facebookは「いいね」をしていないと自分のタイムラインに投稿が流れてこない。普段、日本語ばかり流しているページに「いいね」はしない。災害時だけ、英語ややさしい日本語を流しても、外国人には情報が届かない。外国人向けのページを作って、普段から有用な情報を日常的に流して、たくさん「いいね」を貰うことが大事。テレビも一緒。普段、日本語しか流れていないチャンネルを災害だからと言って、見ることはない。外国の方が普段使っているツールが災害時も強いと思う。自動翻訳も、日本語の文章を見て、自分にとって役に立つかは分からないので、特定の文章を選んで、自動翻訳することはない。自動翻訳ばかりに頼るのも良くない。先ほどの定型文を用意して、災害時に流すのは良い方法だと思う。日本語だけでは見ない。学校のプリントも一緒。便利なツールではあるが、活用は難しい。

評議員

・八王子市内で外国人の被害者はいたのか。

事務局

・避難所に避難してきた外国人はいた。言葉の面で困ったという報告は聞いていない。日本語ができない外国人も日本語を話せる外国人と一緒に避難されていた。

ひょうぎいん
評議員

ちい き いっしょ こうどう ひと かくちい き ふ おろ ー で き よ
・地域で一緒に行動してくれる人がある。各地域でフォロー出来れば良い。

ひょうぎいん
評議員

ちい き つな いちばん よ ちょうかい り じ か い がいこくじん き くぼ なん
・地域で繋がっていきるのが一番良い。町会の理事会などでは、外国人などに気を配って何とかしようというところはあ

じむきょく
事務局

はちおうじしな い ほんじん がいこくじん と じんてきひが い な
・八王子市内においては、日本人・外国人問わず、人的被害は無かった。

ひょうぎいん
評議員

し げんざいおこな じょうほうでんたつしゅだんい がい ほか
・市が現在行っている情報伝達手段以外のものでも他にあるか。

ひょうぎいん
評議員

やまぐちけん がいこくじん かた おおやけ じょうほう にゆうしゅ あん け ー ちょうき けっか いちばん おお かった
・山口県で外国人の方が 公 の情報をどうやって入手しているのかをアンケート調査した結果、一番多かったのは人づて。特徴として山口県は永住者を除くと技能実習生が多い。日本に滞在している期間が短い状況ではある。留学生が多い八王子とは違うとは思いますが、外国人と接点がある人に必要な情報を伝え、その方が伝えることも大事ではないか。

ひょうぎいん
評議員

はちおうじしな い どうこくじん こ み ゅ に て い ー ぐ る ー ぶ つく おも
・八王子市内では同国人のコミュニティーのグループを作ったと思うがどうなっているのか。

じむきょく
事務局

はちおうじこくさいきょうかい こ こ み ゅ に て い ー ぐ る ー ぶ つく じょうきょう よ ざんねん
・八王子国際協会にて Facebook に 6 個のコミュニティーグループを作ったが、状況は良くない。残念だが、来年度、閉鎖をする予定になっている。

ひょうぎいん
評議員

じょうほうていきょう し すべ じょうほう た げん ご か おも ゆうせんじゅんいなど し かんが
・情報提供といっても、市も全ての情報を多言語化することはできないと思う。優先順位等、市はどう考えているのか。

じむきょく
事務局

げんざいはちおうじし た げん ご か ゆうせんじゅんいなど き よこはまし た げん ごこうほうししん しんじゅくく
・現在八王子市では、多言語化の優先順位等は決めていない。横浜市では「多言語広報指針」新宿区では、「外国人への情報提供ガイドライン」の中で、言語や情報の優先順位などを決めている。横浜市では、多言語により提供する情報の基準の中で、命にかかわるような情報を挙げているほか、やさしい日本語による情報提供についても指針を示している。

ひょうぎいん
評議員

はちおうじし つく よてい
・八王子市で作る予定はないのか。

事務局

- ・現在のところ動きはない。

評議員

- ・あったほうが良い。他の部署もルールに従って多言語化出来る。

事務局

- ・各所管でも文書等を多言語化する必要があるかどうかの判断基準になるし、外国人支援の意識も高くなると思う。

評議員

- ・やさしい日本語等もあるが、日本で暮らす外国人の中には、生活する上で日本語を必要としない外国人もいる。情報提供する際、この人たちに対して、英語等にするなど、ある程度配慮してほしい。

事務局

- ・メール配信について、英語の登録者数は、2015年には100人、現在は526人、中国語は、2015年には27人、現在は163人になっている。災害があると増加する傾向にある。メール配信という手法は求められていると感じている。

評議員

- ・メール配信は、どのようになっているのか。

事務局

- ・市のホームページのトップにメール配信のリンクがある。そのページから登録出来る。現在、防災情報や防犯情報、子育て情報、外国語の情報がある。

評議員

- ・全ての情報が来るのではなく、選んだ情報だけが来るのか。

事務局

- ・その通り。登録する手順の途中までは一緒。登録する際に必要だと思う情報を選ぶようになっている。途中で変更することもできる。

評議員

- ・メール配信の災害情報で、英語版はないということですね。そこが重要だ。

評議員

- ・銀行では、緊急情報、例えば、ウイルスに関する情報は登録していない人にも送られてくる。

事務局

- ・市でも緊急速報メールは、メール配信サービスに登録していない人にも送られる。ただし、多言語化はされていない。

評議員

- ・緊急速報メールやメール配信サービスの情報はどこで得られるのか。メール配信サービスがあることを外国の方はどうやって知るか。

事務局

- ・ホームページやチラシ、外国人のためのくらしの便利帳に載っている。

評議員

- ・外国人のためのくらしの便利帳などを外国人に徹底する必要がある。

評議員

- ・外国人のためのくらしの便利帳は必要な情報が載っていて良くできている。ただ、転入してきた時にもらう資料が多くて、埋もれてしまう。協会にも資料をたくさん持って相談に来る。

評議員

- ・4月に由井第一小学校に日本語学級が移ってくる。外国人用の入学パックのようなものが必要。川では遊ばない等の「由井一スタンダード」と呼んでいるルールがある。この翻訳の他に、学校にはお菓子を持ってこない等の日本の学校の基本ルールが書かれたものが必要。英語、中国語、スペイン語などが必要になる。独自で作ろうという話になったが、ボランティアでは難しい。

評議員

- ・是非、作ってほしい。近隣の市ではすでに作っている。日本の学校の基本的なルールを伝えるものが必要だ。

評議員

- ・最初から作っていると大変なので、学校に関する情報を集めたサイトがある。かながわ国際交流財団など、いくつかある。そちらを参考にするとよい。

評議員

- ・次第の3「意見交換」の二つ目、外国人留学生への支援について、事務局より説明をお願いする。

事務局

- ・資料2を用いて説明

評議員

- ・説明にあった就職支援セミナーの周知は、大学の留学生担当やキャリアセンターにもしているのか。

事務局

・周知している。大学のほか、大学セミナーハウス等の関係施設にも周知している。

評議員

・先ほどの説明にあった八王子市が行っている4つの事業や、それ以外についてもアイデア等があるか。

評議員

・一つ目の外国人留学生奨学金と二つ目の留学生住居賃貸代行保証料補助金について、どのような基準で募集しているのか。留学生の人数から考えると、受給する学生はもっと多くても良いのではないかと思う。どのような基準で募集し、また、周知しているのか。

事務局

・一つ目の外国人留学生奨学金については、各大学に周知している。学生が入学した後に、各大学で奨学金の説明会を行っているという。また、大学の掲示板に掲示しているところもあると聞いているが、大学ごとに細かく周知方法はチェックしていない。人数については、予算の兼ね合いがあり、平成29年度と30年度は50人を上限としている。上限に達していない点については、当初は50名を支給対象者として決定しているが、年度途中で退学や八王子市外への転居など、支給条件から外れてしまっているケースである。令和元年度は、予算の関係で40名となっている。

評議員

・予算いっぱいの人数に支給しているということか。

事務局

・そのとおり。申込者数をもっと人数が多く、小論文等による選考で、支給対象者を決定している。

評議員

・市の奨学金は、ほかの奨学金をもらっている学生は申請ができない。大手の奨学金には、月額を支給額が12万円くらいのところもあるため、優秀な学生はそちらを申請する。市の奨学金を申請するのは、それらを受給できない学生となるため、トップの学生は集まらない。市はどのような学生を対象に支給しているかは疑問を感じる点もある。市の奨学金の受給者は地域活動が義務付けられていると認識している。

事務局

・年4回のボランティアをいただいている。一番多いのは、高尾山の観光案内所でのボランティア活動である。ミシュラン三ツ星になっており、外国の方も多く来られているため、そこでの活動をお願いしている。そのほか、町会自治会に関係するところでは、みんなの川の清掃デーが毎年9月にあるが、それに参加していただいている。ボランティアの位置づけが難しいが、防災訓練などにも参加していただいている。

評議員

ひょうぎいん
評議員

お お て しやうがくきん がくせい ふ お ろ ー かんが おも
・大手の奨学金をもらえない学生をフォローするという考えもあってよいと思っている。

ひょうぎいん
評議員

しやうがくきん そつぎやうご へんかん
・この奨学金は卒業後に返還するのか。

じむきよく
事務局

へんかん
・返還はない。

ひょうぎいん
評議員

しやうがくきん たいしやう だいがく
・この奨学金の対象は、大学だけか。

じむきよく
事務局

はちおうじしな い だいがくとう かよ しな い ざいじゆう がくせい たいしやう
・八王子市内の21大学等に通っており、市内に在住する学生を対象としている。

ひょうぎいん
評議員

かくだいがく きんとう しきゆう
・各大学に均等に支給しているのか。

じむきよく
事務局

しんせい なか せんこう き
・申請された中から選考して決めているため、ばらつきはある。

ひょうぎいん
評議員

じゅうきやうたいだいいこうほしやうりやう きんむ だいがく だいがく ほしやうにん
・住居賃貸代行保証料についてだが、勤務している大学では、大学が保証人になっている。

じむきよく
事務局

に ほ ん こくさいきやういくし え んきやうかい りゅうがくせいすみそうごうほしやう りやう け ー す おお ねんかん えんていど だいがく
・日本国際教育支援協会の留学生住総合補償を利用しているケースが多い。2年間で8,000円程度だが、大学
が保証人になっているケースも多く、それらも補助金の対象となる。

ひょうぎいん
評議員

じゅうきやうたいだいいこうほしやうりやう す た ー と し しんせい じやうけん しきゆうたいしやう
・住居賃貸代行保証料については、いつがスタートであっても市に申請すると、条件があれば支給対象となるのか。

じむきよく
事務局

ほしやうりやう しはらい び ねん い な い もうしこ たいしやう
・保証料の支払日から1年以内の申込みであれば対象となる。

ひょうぎいん
評議員

しんせい いちど
・申請は一度きりか。

じむきよく
事務局

・そうだ。

ひょうぎいん
評議員

・府中の大学では、教授が学生にボランティアを紹介していると聞いたことがある。八王子の場合はそのようなケースはあるのか。

ひょうぎいん
評議員

・教授のネットワークを使って、そのような対応をしているところもある。

ひょうぎいん
評議員

・大学には、英語だけで実施する授業もあるのか。

ひょうぎいん
評議員

・ある。中央大学では、120 くらいの授業を英語で行っている。英語だけで単位が取得でき、卒業できるプログラムがある。例えば、法学部では、日本の憲法を英語で学習できる。大手の大学はそのようなプログラムがあるところが多い。

・大学で留学生を見ていて感じるのは、卒業後のキャリアについてである。一番心配している。八王子市としては、市内に就職して残ってくれることが最も望ましいと考えていると思うが、市内企業とつなげる道ができると良い。これほど、学生がたくさんいる市はない。

ひょうぎいん
評議員

・就職支援セミナーについては、市内企業の魅力があまり感じられていないのかもしれない。奨学金については、市の予算以外に企業も関わって支援することで企業の魅力を PR できるかもしれない。

ひょうぎいん
評議員

・日本語学校では、スポンサー企業が、優秀な留学生を囲い込んでいるケースもある。

ひょうぎいん
評議員

・企業も人手不足と聞く。技能実習生は 1、2 年かけて教育しても 3 年で帰国してしまう。それよりは、日本語学校の学生に投資したほうが、効率が良い場合もある。

ひょうぎいん
評議員

・この後に説明がある日本語学校のアンケートにも書かれているが、日本語学校の留学生の半分以上は、大学や専門学校への進学を希望しているが、実際の進路は希望どおりになっているのか。結果を見ると、就職よりは進学を目指している学生が多い印象を受ける。

ひょうぎいん
評議員

・在留資格の関係があるが、母国で大学を卒業したあとに日本語学校に通っている留学生は、日本語学校を卒業後、すぐに就職できる。最近、母国で専門学校や短大を卒業している留学生も多い。

じむきょく
事務局

・留学という資格で来ているため、基本的には、専門的な知識を有していないと、日本語学校卒業直後は日本企業への就職ができない。その専門性というのが、先ほどの話でもあったが、母国で専門学校に通うなど、専門的な勉強をしている学生であり、彼らは日本語学校卒業後にすぐに日本企業への就職ができる。母国で高校までしか卒業していない留学生は、基本的には、日本語学校卒業直後の就職はできない。

ひょうぎいん 評議員

・外国人を採用したい企業は八王子市内にあれば、その企業がスポンサーとなり、奨学金を運営していく方法ができれば良い。

ひょうぎいん 評議員

・外国人を採用したい企業はある。私の会社の外国人社員のケースでは、商品を使用していただいている大学の研究室のつながりが採用につながった。

ひょうぎいん 評議員

・そのようなコネクションは大切。八王子市内の企業と市内企業とのマッチングができると良い。

ひょうぎいん 評議員

・市の産業関連や企業とつながりがある部署で、そのような話はないのか。

じむきょく 事務局

・市だけではなく、企業支援を行っている機関とも話をしている。単純労働ではなく、人材として戦略的に外国人の活用を考えた時に、市内企業のニーズはそれほど高くはないのではないかという話もあるが、求めている会社はいくつかあり、紹介はできるとのこと。

ひょうぎいん 評議員

・規模の小さい企業も多いため、確かに多くはないかもしれない。

じむきょく 事務局

・平成30年度に合同企業説明会を実施した際に、企業側も集まらなかった。それを踏まえると、外国人材を求めている本市の企業は、多くないと感じた。また、外国人材を求めている企業は、違うルートで獲得しているのではないだろうか。

ひょうぎいん 評議員

・介護業界からの打診はないのか。

じむきょく 事務局

・介護業界のニーズはある。市の高齢者いきいき課が介護業界とのつながりが強い。介護業界で働きたい外国人の向けの日本語教室を、日本語学校と連携して実施している。定員を超える応募があると聞いている。

ひょうぎいん 評議員

- ・学生全員が就職できているわけではない。日本語が出来るだけでなく、専門知識、技術が必要。就職を希望しているが、出来ない留学生も多いのが現実である。八王子市の企業の情報が留学生に届いていないのではないかと思う。

ひょうぎいん 評議員

- ・日本語能力検定N1を取得しないと就職できないという状況から変わってきている。その人自身の能力を重視して採用する考えもある。

ひょうぎいん 評議員

- ・企業側には、外国人に何をしてもらいたいかのビジョンがある。例えば、電気とか機械などの専門分野を母国で学んでいた留学生であれば、スキルを活かしてもらうことを期待する。日本語能力が高くなっても問題がない場合もある。さらに、英語ができたりすると、採用する側として魅力に感じる。単純労働ばかりではないため、誰でも良いわけではない。企業としては専門性を求めている。

ひょうぎいん 評議員

- ・関わっている外国人のための高校進学ガイダンスでは、日野にある自動車会社は高校を運営している。専門学校だが、卒業すると、高卒の卒業資格も取れる。そこは、外国人を求めている。教えている外国人の方も何名か進学しているが、1年生のときから給料が支給される。社員という位置づけとなり、実習費はかかるが、月6、7万円程度はもらえる。学年があがると金額も増えていき、社員に育っていく。外国につながる学生も入学している。そのような専門性を持つ学生を支援していく制度が充実していくと良いと思う。

4 報告事項

ひょうぎいん 評議員

- ・続いて、次第の4「報告事項」について事務局から報告をお願いする。

じむきょく 事務局

- ・資料3、4、5を用いて説明

ひょうぎいん 評議員

- ・八王子市内に就職したい留学生が全体の約5%を占めている。留学生の数からみれば、かなりの人数になるため、そのような留学生と市内企業のマッチングができると良い。
- ・東京都も2040年には、人口の10%が外国人との想定とのことだが、すでに新宿区や豊島区、板橋区などではすでに10%を超えている。また、都内では10人に1人は国際結婚である。このような会議の重要性はますます高まっていく。
- ・事務局からの報告に対して意見はあるか。

ひょうぎいん
評議員

- ・アンケートの12ページ、「日本人と交流するイベントがあったら参加したいですか」の問いに対して、参加を希望する学生の割合が非常に高い。小学校で英語教育が義務化され、英語を教える人材不足が懸念されている。英語が話せる学生は、一つの人材となり得るのではないかと。授業ではなくても、イベントを通じての交流ができれば良いと思う。保護者のなかでも、英語教育に力を入れたい方も多く、英語ができる学生の協力があると良い。その窓口に市がなっていたらと助かる。

ひょうぎいん
評議員

- ・すでに大学では、学生が小学校に行って教えているケースがある。実践女子大では、それで単位がもらえる仕組みもある。

ひょうぎいん
評議員

- ・世界ともだちプロジェクトにかかわっている。東京都から各国の大使館に、オリパラを期に国の文化を紹介してほしいと要請している。そのような取り組みに年齢に近い学生が関わると良いのではないかと。と思う。

じむきょく
事務局

- ・それに関連するところで、若干課題がある。学校は英語が話せる学生を求めているが、アンケートの結果の国籍や市内21大学に通う学生の国籍別の数を見ていただくとわかるとおり、ベトナム、中国、ネパール、韓国、マレーシア、台湾が多い。学校からの依頼もあるが、うまくお応え出来ない状況である。

ひょうぎいん
評議員

- ・欧米志向ではなく、オリエンタリズムになると良い。

ひょうぎいん
評議員

- ・本日の議題は以上とし、事務局から事務連絡をお願いします。

5 じむれんらく
事務連絡

- ・外国人のための防災訓練について
- ・やさしい日本語講座について
- ・今後の予定について

6 へいかい
閉会